



12 2023

発行所 大阪市中央区玉造2-24-22 カトリック大阪大司教区 広報委員会 郵便番号 540-0004 TEL (06) 6941-9700(代表) TEL (06) 6946-3223(直通) FAX (06) 6946-3224(直通) E-mail: jiho@osaka.catholic.jp 編集 広報委員会 発行人 前田万葉

本紙 「点訳版」「音訳」があります。〈無料〉 ※ご希望の場合は下記まで申込み 「点訳版(点字本)」 時報 ☎06-6946-3223(直通) ☎06-6946-3224(直通) 「音訳(テープ・デジ)」 山口さん ☎0798-34-4228

- ☆ 司牧者から若者たちにこの一冊
- ☆ 「Letter」〜テゼの祈り〜
- ☆ ラジオ「信仰の時間」和越 敏神父
- ☆ クリスマス関連行事ミサ時間
- ☆ 2023年の振り返りと展望
- ☆ 生きる一難民移住者
- ☆ ガラシア健康だより
- ☆ カテキズムの学び
- ☆ 感謝の典礼を中心

『時報』原稿・資料等の締切は 前々月末です。

# INTERNATIONAL DAY 2023 人類が一つになるための 「しるし」であり「道具」である



さまざまな民族が集い、歌とダンスをステージで披露した

10月15日(日)、「International Day: 旧・国際協力の日」が開催された。午前中はカテドラル聖マリア大聖堂において松浦悟郎司教(名古屋教区)を迎えて国際ミサがおこなわれた。午後はカテドラル敷地内の駐車場で、エキシメニカルかつ国籍を越えた人びとの交流会が開かれた。

コロナ感染対策で制限を設けた昨年と異なり、今回は大聖堂が立ち見で埋まるほどミサの参加者も多く、交流会も事前に多くの出演者やステージへの出演の応募があった。このイベントは「外国人住民基本法の制定を求める全国キリスト教連絡協議会」が主催するもので、1993年に教区行事となり、今年で27年目を迎えた。

(文) International Day実行委員会

松浦司教は説教の冒頭、「いろいろな国や立場の人たちがひとつに集まり、喜びあう、これが教会だと思おう」と述べた。かつてワールドユースデーで出会った若者が、「僕は信者だけど兵士だから人を殺さなければならぬ」との発言を紹介し、教会は皆が本当の気持ちを持ち、「平和は本当に実現する」と祈る場でも

あることを語った。説教の最後に、教皇フランシスコの言葉である、「戦争が橋を壊すのではない、橋が壊れたところに戦争がおこる」を引用し、人と人とのつながりをつくることの大切さを強調した。

午後の交流会では、50を超える出店が駐車場を囲み、金木犀の甘い匂いと、食欲をそそる各国の料理の匂いが漂っていた。教区本部前に設けられたステージでは、20を超えるグループが歌やダンスを披露した。小教区でのミサを終えた人たちも三々五々やってきて、最後まで賑やかな雰囲気だった。

晴天にも恵まれ、国籍を越えてともに祈り、ともに交わる一日となった。準備や当日の運営、後片付けに、たくさんの方々に協力していただいた。心から感謝したい。



松浦悟郎名古屋司教の説教

## 典礼研修会 今あらためてミサを味わうために

司教者の所作の意味・奉仕者の役割・会衆の参加

10月29日(日)14時から、パウロ酒井俊弘補佐司教を講師に迎えて、大阪高松大司教区となつて初めての教区典礼研修会がサクラファミリアで行われた。

初めに、参考文献として、『カトリック教会のカテキズム』、『新しい「ミサの式次第と第一〜第四奉献文」の変更箇所』、『教皇フランシスコ講話集』(ペトロ文庫)、『ミサ聖祭聖書にもとづくことばと所作の意味』(エドワード・スリ、田中昇、湯浅俊治共著)の紹介があった。

「の通りです!」という「信仰告白」である意識して力強く唱えることで、ミサへの積極的参加になると思った。

パンとぶどう酒は神の国の豊かさや恵みのしるしでもあり、古代のイスラエル人にとって、命の支えであった「パン」を差し出すことや一年かけて育てた大切なぶどうから作ったぶどう酒をささげることは、自らを神にささげる犠牲的行為であり、自己奉獻を象徴するものだったと知った。また、時間と労働を具現化したお金も、ミサの供え物として、司祭が代理をつとめるイエス自身の手に委ねるのだと自覚することができた。

ぶどう酒を少量の水で薄めるが、ぶどう酒はキリストの神性を、水は私たちの人性を象徴して、水とぶどう酒を混ぜることは、神が人となる神秘(受肉の神秘)を示し、私たちがキリストの神聖な命にあずかるように招かれていることを学んだ。また、「これをわたしの記念として行いなさい」の「記念」とは、過去にあった事を想起することではなく、十字架上のキリストの救いの業が、このミサで行われていることを宣言していることを改めて意識する機会となった。

質問用紙に寄せられたいくつかの質問に答えられ、最後に、「この研修会で気づかせていただいたことをミサで思い出して、日々の生活の中で神とつながっている喜びを感じ、世界の人のつながりを大切にして生きていくことができますように」と祈り、2時間の研修会を終えた。

(文) 大阪高松大司教区典礼委員会



所作・言葉の意味をかみ砕いて説く酒井補佐司教



教区納骨者および死者祈念ミサ

# 祈りとともに歩む道

11月3日(祝・金)、大阪高松カテドラル聖マリア大聖堂で「教区納骨者および死者祈念ミサ」が行われた。

当日は人数制限がない中、約540人が参列した。主司式の酒井俊弘補佐司教はミサの説教で、参列者に向けて、天国へ向かう道のりを巡礼路になぞらえて、それぞれの家族・親族のためだけでなく、かかわるすべてに亡くなられた方のために、イエス様や先人たちからの声に耳を傾けながら、祈りが道となるほどの強い思いをもって、永遠の安息を互いに祈るようにと語った。

焼香には自分自身の穢れを落とし、心身が清浄な状態で故人に向き合うという意味が込められている。

参列者にとって、この日が先に眠られている方を思い起こし、自分自身の歩む道と改めて向き合う日となった。



ミサ説教の動画はここから▶



9月30日サクラファミリアにて、フランシスコ教皇の呼びかけに応える、全世界と連帯した、エキュメニカルな祈りのつどいが開催された。

フランシスコ教皇は、10月4日より始まるシノドス第16回通常総会の働きを神に委ねるため、同日サンピエトロ広場でエキュメニカルな教派を超えた祈りの集いと呼びかけ、そのプログラムをテゼ共同体に依頼された。この日、日本国内でも、東京、福島をはじめ、各地でローマと連帯した祈りの集いが行われた。

サクラファミリアは、プロテスタントの関西学院大学とともに準備を開始。今回の集いは、テゼ共同体と長年繋がっておられる、関西学院宗教総主事の打樋啓史先生のリードにより進められた。

祈りの初めに、福岡教区のアベイヤ司教より「この祈りの場に私たちを導いたのは、現代において福音の光を灯していきたいという、一人ひとりの深い望みなのです。そして世界がそれを必要としていると、私たちは確信して祈ります。だから、心から祈るのです」とメッセージをいただいた。教派を超えた100人近くの参加者は、テゼの歌と沈黙の中で、



「友情のイコン」を中心に、ロウソクの灯がゆれる

それぞれがキリストの弟子として「ともに歩む」ことの知恵と勇気を求め、祈りをささげた。

サクラファミリアでは、毎月17日「祈りのよる」と題し、テゼの歌で祈る小さな集いを続けている。福音の光を灯すため、これからも、単純素朴、ただ祈り、沈黙のなかで神さまと出会う、この時間を大切にしていきたい。



参加者の歌声に、関西学院大学聖歌隊の美しいソロが重なった

キリスト者であれば、神さまがどんな方なのかを知りたいという望みは持っています。それには、聖書を読むことが一番です。しかし、まず、長くて読破することは簡単なことではありません。さらに、読んでもすぐに忘れてしまうことが、たびたびあります。おまけに、難しい箇所もあり、さっぱり意味が分からず、絶望的な気持ちになることもあります。解説書はありますが、

『人生、一歩先は光―はるな牧師のマンガ説法』(春名康範著、日本キリスト教団出版局、2013年、税込1980円)

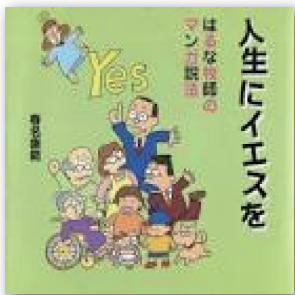


山口武史神父 からの一冊

司牧者がリレー形式で若者たちにぜひ読んでもらいたい書籍を紹介し、青年たちの読書感想文を掲載する連載。今回は、山口武史神父(園田教会)が担当。



『人生にイエスを―はるな牧師のマンガ説法』(春名康範著、日本キリスト教団出版局、1998年、税込2420円)



私は常々、几帳面で、完全主義の人のほうが、聖書を読むことを諦めてしまっているのでは? と思っています。1ページ目から読み始めて、完読しなければなりません。

若い人にとっては相当な支出になります。そこで、お勧めしたいのは、はるな牧師のマンガ説法『人生、一歩先は光』と『人生にイエスを』(日本キリスト教団出版局)の二冊の本です。旧約と新約の有名なフレーズを選び、エッセイ風に書いています。聖書の解釈というように堅苦しいものではなく、春名康範牧師が、「私はこう思う……」という感じなので、自由さがあります。話の引き出しも多く、飽きさせないように書かれています。文章が短く、分かりやすく書いてくれていることです。いくら素晴らしいことを書いていても、長い、分からない、ではかえって聖書から遠ざけることにもなりかねません。軽い気持ちで読めるのは、ありがたいことだと思います。

そして、ある程度理解しなければならぬ、と張り切り過ぎるからです。100%を求めると、つまりいた時は0%になることもあります。不完全でも、0%よりは、断然いいはずなんです。聖書を全て丸暗記するなんて到底できません。自分にとって、この箇所が好きとか、心に残ったことが一ヶ所でもあればいいのではないのでしょうか。本なので好き嫌いはあると思いますが、一度読んでみてはいかがでしょうか。少しでも聖書の理解の助けになればいいですね。

次回は、ブラザー阿部光一(聖パウロ修道会)です。

## 若者の読書感想文募集



- ① 年齢は35歳まで。カトリック信者、もしくはカトリック教会と何らかの関係がある方(カトリック校や諸施設の在籍者又は卒業生、保護者、関係者など)。
- ② 感想は400字程度。氏名、所属、顔写真(自由)を添えてメール(jino@osaka.catholic.jp)か郵便にて送付(掲載にあたり編集する場合あり)。
- ③ 感想を送ってください。た方全員に教区オリジナルしおり(4枚組)を進呈。たくさんの方の投稿をお待ちしています。

読者投稿でつむぐコラム

ちょっとイイ話

第2回

教会や家など身近にあった心温まるエピソードを読者投稿より紹介！

一人ひとり色ガラスを持って

信徒の力でステンドグラス完成！

2023年10月、5年の歳月をかけてステンドグラスが完成しました。

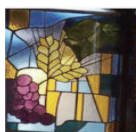
旧箕面教会にあったステンドグラスが見つかり、新しいステンドグラスを制作するプロジェクトが2018年にスタートしました。その年の11月には前田万葉大司教様も見に来られ、「素晴らしい」との激励のお言葉をいただきました。

精華教会(京都教区)の横岩敏幸さんにご指導いただき、子どもたちをはじめたくさんの方々が集まり、図案にあわせてカットした

ガラスに銅テープを巻きつけ、ハンダ付けの作業を行いました。子どもたちにとっては教会に来るきっかけにもなり、大人たちも作業をしながら楽しくおしゃべりできる憩いの場となりました。また自分たちが作ったステンドグラスが一枚一枚窓が増えていくことが喜びでした。

費用は全て信徒の寄付金から。箕面教会のみならず全国からも寄せられました。心より感謝いたします。また、横岩さんのお力が無ければこのプロジェクトの成功はありえませんでした。

(一文 ステンドグラス製作プロジェクトチーム・近藤美千代)



大阪高松教区 ペトロ 梅原 彰神父(85歳) 帰天

ペトロ 梅原 彰神父は、2023年11月16日、心不全のためドムスガラシアで帰天。幾度も大きな手術を乗り越え、現場に戻り、多くの教会で信徒と歩みと共にしながら長く根付き、福音を広めた。

【略歴】 1938年5月7日、大阪府東大阪市生まれ。1965年3月20日司祭叙階。同年、70年香里教会の助任。70年、82年主任司祭として、千里ニュータウン教会の設立に尽力した。その後小教区司牧に邁進され、98年、2006年高槻教会、06年、22年夙川教会の主任として司牧。教会の宣教とは別に、ガラシア病院や、大阪マツクをはじめ、さまざまな団体の理事や担当司祭も務めた。



聖堂・東窓全面に据えられたステンドグラス



ステンドグラス制作の様子



ラジオ 信仰の時間

共に生きる喜び

(10月15日放送分)

和越 敏神父 仁川教会

今日は年間第28主日で、マタイによる福音書22章1節から14節が読まれます。イエス様は祭司長や民の長老たちに、天の国はある王が王子のために婚宴を催したのに似ていると話しました。ご存知のように、婚宴は神の国の恵みと喜び、神と人とが一つに結ばれる終末的な救いのイメージを表しています。婚宴と同じように、神の国の恵みと喜びは、神との交わり、神とのつながりと、仲間との交わり、他者とのつながりから始まるのです。

現代社会は多くの原因で仲間とのつながりが弱くなっていますが、人間同士のつながりも神の喜びの大切なポイントです。「礼服」は礼儀作法、つまり神の愛を受けて、人を愛することです。その場に集うお互いのつながりや、思いやりを態度に表すことです。聖パウロの「喜ぶ人と共に喜び、泣く人とともに泣きなさい」(ローマ12・15)という言葉も「礼服」と考えられるでしょう。

そしてご存知のように、「共に生きる」は社会の仕組みの基本です。これはスローガンではなく、人間性に根差した自然のありのままです。「共に生きる」前提は、他者を受け入れ、他者に受け入れられることです。現実の日本も経済をはじめとさまざまな社会活動は、日本だけで完結されることはできません。アジアと全世界の国々と共に生きるために互いに支え合いながら受け入れ合うべきでしょう。

キリスト教は「共に生きる」をよく強調しています。主イエス・キリストは人間の私たちの喜び、悲しみを共に分かち合うためにこの世に来られました。主イエスは特に食事の時間を選んで、ご自分の霊的な証しは弟子たちに託し、真理と永遠の愛を育み、救いをもたらす食べ物と飲み物としてご自分の体と血を与えたのです。

カトリック教会の私たち一人ひとは、ごミサを通して「共に生きる」体験をしています。ごミサを一緒にささげることによって、自らの内に閉じこもろうとする誘惑を退け、愛と忠誠のうちに強められ、キリストの御心に従って兄弟姉妹愛を広めるのです。

これについては1987年11月に第1回福音宣教推進全国会議(NICE 1)が行われました。この会議の課題は、「開かれた教会づくり」でした。この会議を経て日本カトリック司教団は「共に喜びを以って生きよう」との文書を発表しました。「共に」には教会が社会と共に歩み、人びとの苦しみ、喜びを分かち合っていく共同体となる決意を込め、「喜び」には「規定や教義を中心とした捉え方から、生きることを中心としたと

らえ方に転換したいと思います」との思いを込めたメッセージでした。

NICE 1を踏まえて、私たち一人ひとりも教皇フランシスコの呼びかけである「シノドスの雰囲気の中に生きよう」に従って自ら交わり、参加、宣教というシノドスのテーマを深めていきましょう。第4回通常総会に向けて、世界の教会が今歩んでいる準備の過程は、「シノドス的な」という意味のシノダリティという言葉に象徴され、教会全員が皆と共に旅をし、集い、教会の福音化の使命に能動的に参加することを提示しています。この歩みに沿って、自分の信仰生活を全うし、再び教会を作り、社会のために貢献していきましょう。

最後に、心を合わせて教皇と日本の教会の意向のために一緒に祈りましょう。

教皇の意向「教会が生活様式のすべての場面で、傾聴と対話を大切にすることを聖霊の導きによって世界の隅々にまで行き渡らせることができますように」。

日本の教会の意向「シノドスの歩みに合わせて社会に福音を宣べ伝える使命を思い起こさせますように」。

どうか信仰・希望・愛を新たに、これからもシノドス性を深めて証して参りましょう。

毎週日曜日 5:50~6:00AM 放送  
12月担当: 中島 貴幸神父  
ABCラジオ(朝日放送) AM1008/FM93.3  
スマホアプリのradikoでも聴けます。



肌にあたる風がふんわりと秋を感じさせ、心穏やかに静かに祈りへと導かれる午後でした。

聖書の3箇所が朗読されました。創世記では「極めて良いものの創造」、コリント書では「人の尊厳」、ルカ福音書では「人の本質・愛」の内容が読まれました。各朗読の前後に、家庭、教会、そして社会から被害を受けた人々、被害を受けることで誰からも離れてしまい孤独の中にいる人々、フラッシュバックや二次被害に苦しむ人々のために、また加害者、教会そして社会の回心のために、繰り返し繰り返した。同じ祈りを繰り返すことで、奥深いところから声にならない声が聞こえ、その沁みてる声に何もできない自分を感ず、ただひたすら被害者のために祈り、加害者と無力な自分のために赦しを願うばかりでした。

### テゼの祈り

10月7日(土)、サクラファミリアの聖堂で「性虐待被害者のための、テゼと聖書による祈りの集い」が行われた。



## 寄りそう心で

メッセージを担当されたシスターは、社会的な問題となっている大手芸能事務所的事件をとりあげられました。ひとりの人間により長期にわたって繰り返されてきた性的虐待。それは被害者やその周りの多くの少年達の心と身体を傷つけ、そして口をつぐませました。その真実を伝えなければならぬ。メディアや社会は加害者に忖度し隠蔽してきまされた。被害者が加害者と加害者を取り巻く闇深い社会に長い間苦しめられ続けている。私達の身近にも起こりうるこの現実を深く受けとめ、傷つき、苦しみを続けている被害者に思いを馳せているとまたしても自分の無力さを痛感し、目線が下をむきかけた時に、力強いメッセージが聞こえました。「乗り越える力を神から頂きながら、共に歩んでまいりましょう」ひとりではない。共の神に祈り、共に性虐待を起こさない教会、社会を作るために歩いていこうと勇気づけられ、目線をあげることができたのでした。

委員会では、祈りの集いを年に二回開いております。共に祈り、共に時を過ごす、この集いは、皆さまのご参加をお待ちしております。

## 2023年 クリスマス・新年 (神の母聖マリア) ミサ時間

### ★加古川教会 079-422-2870

- ・ 12月24日(日) 18:00 日本語
- ・ 12月25日(月) 9:30 日本語
- ・ 1月1日(月) 9:30 日本語

### ★北須磨教会 078-791-3788

- ・ 12月24日(日) 18:30 日本語
- ・ 12月25日(月) 10:00 日本語
- ・ 1月1日(月) 10:00 日本語

### ★洲本教会 0799-24-5144

- ・ 12月24日(日) 19:00
- \*ミニコンサート後ミサ
- ・ 12月25日(月) 10:00

### ★鈴蘭台教会 078-593-0025

- ・ 12月24日(日) 18:00 日本語
- ・ 12月25日(月) 9:30 日本語
- ・ 1月1日(月) 10:30 日本語

### ★六甲教会 078-851-2846

- ・ 12月24日(日) 17:00 子どもと共に捧げるミサ 19:00、21:00 日本語
- ・ 12月25日(月) 7:00、10:00 日本語
- ・ 12月31日(日) 23:00 日本語
- ・ 1月1日(月) 7:30、10:00 日本語

### ★芦屋教会 0797-22-3982

- ・ 12月24日(日) 18:00
- ・ 12月25日(月) 10:00

### ★夙川教会 0798-22-1649

- ・ 12月24日(日) 17:00、19:30、22:00 日本語
- ・ 12月25日(月) 10:00 日本語
- ・ 1月1日(月) 9:00、11:00 日本語

### ★甲子園教会 0798-41-1602

- ・ 12月24日(日) \*19:00
- ・ 12月25日(月) 9:00
- ・ 1月1日(月) 10:00
- \*24日はミサ前18時半よりキャンドルサービスを行います。

### ★武庫之荘教会 06-6431-7029

- ・ 12月24日(日) 9:30 \*19:00
- ・ 12月25日(月) 10:00
- \*18:30~クリスマスキャロル、キャンドルサービス後ミサ

### ★園田教会 06-6491-4424

- ・ 12月24日(日) 19:00 日本語
- ・ 12月25日(月) 9:00 日本語
- ・ 1月1日(月) 9:00 日本語

### ★尼崎教会 06-6481-4235

- ・ 12月24日(日) \*①17:30 \*②20:00
- \*①17:30はこどものためのミサ 日本語
- \*②20:00は国際ミサ(英語、スペイン語、ポルトガル語、日本語)
- ・ 12月25日(月) 9:30 日本語
- ・ 1月1日(月) 9:30 日本語

### ★日生中央教会 072-766-1519

- ・ 12月24日(日) 19:00 日本語
- ・ 12月25日(月) 10:00 日本語
- ・ 1月1日(月) 11:00 日本語

### ★豊中教会 06-6852-4110

- ・ 12月24日(日) 19:00 日本語
- ・ 12月25日(月) 10:00 日本語
- ・ 1月1日(月) 10:00 日本語

### ★高槻教会 072-675-1472

- ・ 12月24日(日) 17:00、19:00
- ・ 12月25日(月) 9:00
- ・ 1月1日(月) 7:00、9:00

### ★なみはや教会 06-6551-6253

- ・ 12月24日(日) 11:00、17:00 日本語
- ・ 12月25日(月) 11:00、\*17:00 日本語
- \*ミサ後パーティー
- ・ 1月1日(月) 11:00

### ★住之江教会 06-6681-1895

- ・ 12月24日(日) 19:00 日本語 英語通訳あり
- ・ 12月25日(月) 19:00 日本語 通訳なし
- ・ 1月1日(月) 9:00 日本語 英語通訳あり

### ★生野教会 06-6757-1792

- ・ 12月24日(日) 19:00 日本語韓国語共同ミサ
- ・ 12月25日(月) 10:00 日本語韓国語共同ミサ
- ・ 1月1日(月) 10:00 日本語韓国語共同ミサ

### ★玉造教会 06-6941-2332

- ・ 12月24日(日) 14:00 英語、19:00 日本語 21:00 ベトナム語
- ・ 12月25日(月) 0:00 International、10:00 日本語
- ・ 1月1日(月) 0:00 International、10:00 日本語 14:00 英語、15:30 ベトナム語

### ★串本教会 0735-62-0573

- ・ 12月25日(月) 11:00

## クリスマス行事

### 子どもたちによる聖劇

- ・ 12月24日(日) 18:00
- 場所: 加古川教会聖堂
- 主催: 加古川教会アグネス会 079-422-2870

### クリスマス音楽の集い

- ・ 12月10日(日) 14:00
- 場所: 六甲教会聖堂
- 主催: 六甲教会音楽チーム ※無料 078-851-2846

### クリスマスリコーダーコンサート

- ・ 12/17(日) 10:30~11:30
- 豊中教会、ガールスカウト159団グループ「tukutuku」による演奏
- 場所: 豊中教会マリア館
- 申込み不要、※無料 06-6852-4110

### 飯盛山麓クリスマスフェスタ

- ・ 12月17日(日) 14:00
- 場所: 大東教会聖堂
- 講演: 竹延真治神父
- クリスマスソング: 城星学園聖歌隊 090-6605-3465 (高橋)

### クリスマスキャロル in 名谷

- ・ 12月17日(日) 14:00~15:00
- ※クリスマスソング、聖歌
- 場所: 地下鉄名谷駅前広場
- 主催: 北須磨教会 078-791-3788

### クリスマスキャロル

- ・ 12月3日(日)
- 場所: JR芦屋駅前
- 主催: 芦屋キリスト教協議会 0797-22-3982

### 第11回しろきた市民クリスマス会

- ・ 12月2日(日) 14:00~17:00
- 場所: 今市教会聖堂
- 主催: 大阪旭朝禱会 ※無料 06-6951-5018

### カテドラル聖夜の祈り

- ・ 12月23日(土) 17:00
- 近隣ミッションスクール生によるクリスマスコーラスオーケストラ演奏 06-6941-2332

### クリスマスパーティー

- ・ 12月25日(月) 11:30
- 場所: 信徒会館
- 主催: 洲本教会評議会 0799-24-5144

### 子どものクリスマス会

- ・ 12月24日(日) 10:00~11:30
- 歌やゲーム等でクリスマスを楽しむ
- 主催: 園田教会日曜学校 06-6491-4424



# 2023年のふりかえりと展望



社会福音化部門の司祭の皆さんに、今年のふりかえりと今後の展望について文章を書いていただきました。



## 「新生」の歩みを

社会活動センター・シナピス センター長 松浦 謙 神父



3年半におよぶコロナ禍は、これまで経験したことのない災禍でした。社会も教会も多くの忍耐と犠牲を強いられました。そして、今後も取り組むべき課題は山積しています。神様のみ目がどこにあるかを見極める知恵と光を、祈り求めていかなければなりません。聖霊の息吹によって「時のしるし」を読み取り、新しい歩みを始めましょう。今年、わたしたちは「大阪高松大司教区」としてスタートしました。「共に歩む教会」をめざす「新生の時」となるように願います。



## 船員司牧にかかわる中で

船員司牧 担当 エリック・パウチスタ・デ・グスマン 神父



私は近所のほとんどの家に船員がいるところで育った。船員が家に帰るたびに、家族や親戚、友人にたくさんのプレゼントを持ってくる。家を改築したり、新しい車や家電を買ったりする。船員を家族に持つことは、ステータスシンボルとなっている。



2020年、大阪教区のステラ・マリス（船員司牧）の担当司祭の任命を受けた私は、コロナ禍の影響を受け、船上を訪問することができたのは少しかったが、船員たちは司祭の訪問を希望し、船上でミサに与ったり、船内を司祭に祝福してほしいとの意向を持っていた。私が訪問した船では、亡くなったばかりの船員もいることがわかった。船員たちは皆、同僚に起きた悲劇的な出来事に心理的な影響を受けていた。これは表からはうかがうことができない部分かもしれない。待遇の良さに惹かれて、この業界に携わる人は多いが、仕事が簡単で単純なわけではない。船員たちは通常、約6カ月間、船で働く。家族と離れ離れになり、荒波を航海し、時には大嵐の危険に遭遇する。家族から引き離されることや、作中に起こる自然災害とは別に、船員たちが日々直面する目に見えない、非常に恐ろしい事実が、彼らの精神的な健康に影響する。船員たちは、海を眺めるのが日課となるため、時折ホームシックを感じる。また、家族から悪い知らせを受けると、すぐに対応できないため、心配になってしまう。技術のさまざまな向上により、コミュニケーションは格段に速くなったが、情報が多すぎると船員の負担になるかもしれない。だが、信仰が大きな助けになると思う。船が陸から遠く離れていても、神様が船員たちを心にかけ、船員たちのために誰かが祈ってくれていることは大きな励みになる。さらに、技術のおかげで、誰かがどこかで船員たちの話に耳を傾け、精神的な負担を少しでも軽くするような助言を与えてくれる。物流にかかわることを通じて、私たちの生活を支えてくださっている船員たちが毎日遭遇する困難は、どんなに補償しても埋め合わせることはできないと思う。



しかし、私たちの祈りは、孤独感に包まれている船員たちに寄り添うことができる。ステラ・マリスへの継続的な支援は、お祈りやボランティア活動への協力や物的な支援などのどんな形でも船員たちと家族のための私たちの働きをさらに強化するものだ。海の星、聖母マリアがいつも私たちのために執り成してくださいませように。



## 船員さんへの奉仕ボランティア募集!



大阪や神戸の港には、数か月かけて航行して来た船が到着します。

そこで、船員さんたちのために、ミサや追悼式をしたり、心を込めて編んだ毛糸帽子をプレゼントしたり、交流の場を持つ等の活動を始めます。



長い間、家族と離れて働く人たちが慰めや励ましを得て、心身ともに健やかに過ごせるようになるためです。これらの奉仕活動のお手伝いを希望して下さる方はシナピスまでご連絡ください。



どなたでも結構ですが、英語や韓国語等が少しでもできる方は特に歓迎します。



↓ キ リ ト リ 線 (下記の破線で切り取ってご使用ください。) ↓

02 大阪		払込取扱票		通常払込料金 加入者負担	
口座番号		百 十 万 千 百 十 番		金 額	
0 0 9 6 0 - 7		6 1 4 1 9		千 百 十 万 千 百 十 円	
加入者名		カトリック大阪大司教区 シナピス		料金	
ご依頼人・通信欄		おところ・おなまえ		特 殊 取 扱	
寄付の指定をお願いします(☑を入れて下さい)		<input type="checkbox"/> 難民移住者支援 <input type="checkbox"/> こども基金 <input type="checkbox"/> 活動運営費 <input type="checkbox"/> 指定なし                              2312 J		2312 J	
該当する方は☑を付けて下さい。		<input type="checkbox"/> 匿名希望 <input type="checkbox"/> 領収証不要		おところ・おなまえ	
〒		受付局日附印		様	
(電話番号)		-		-	

払込金受領証	
口座番号	0 0 9 6 0 - 7
加入者名	カトリック大阪大司教区 シナピス
金額	千 百 十 万 千 百 十 円 6 1 4 1 9
ご依頼人	おなまえ
料金	受付局日附印
特殊取扱	様

各票の※印欄は、ご依頼人において記載してください。

記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押ししてください。

裏面の注意事項をお読みください。(郵政事業庁)(私製承認大第30228号) これより下部には何も記入しないでください。

### 社会とともに歩む教会になるために

部落差別人権委員会 担当 長崎 壮 神父



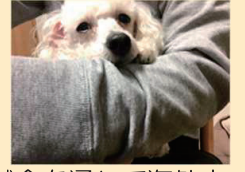
カトリックの「部落差別人権委員会」では、部落差別だけにとどまらず、あらゆる差別による人権問題と向き合い活動するよう努めています。

全国レベルでのシンポジウムや研修会をはじめ、大阪教区内でも毎年シンポジウムや対話集会の場を定期的にもっていますが、残念ながらいつも決まったごく少数の人しか参加されていないようです。

ここ数年で、ネット人権侵害をはじめ新たな差別が現れてきていますから、社会とともに歩む教会であるためにこれまで以上に啓発活動を行い、より多くの信者さんに社会問題・人権問題に関心をもっていただけるようにしていきたいと考えています。

### カリタスジャパンの「これまで」と「これから」について

あつし  
カリタスジャパン 担当 松永 敦 神父



これまでカリタスジャパン(以下CJ)は四旬節献金を通して海外支援をしてきました。信徒の皆様の多くもCJについてそのように認識しておられると思います。

しかし、実は数年前から、国内支援にも力を入れ、大阪高松教区内においても幾つかの団体を支援してきた実績があります。

CJは2024年からの4年間で、その内部においても、外部の諸団体の関係においても、連携を強化し、そのための組織改革を行っていく予定です。

新たな体制を通して、特に困難を抱えている人々とともに歩み、福音を告げ知らせてまいりたいと思います。

### 障がい者委員会からのふいかえり

障がい者委員会 委員長 石井 望 神父



- A. 障がいの福音的観点からの理解を深める
- B. 障がい者への情報保障の取り組み  
教区としての「障がい者への情報保障マニュアル」の準備  
教区公式行事で手話通訳、要約筆記、配布文書の点訳などのサポート、手話通訳者や要約筆記者養成のサポート

※参照：障害者情報アクセシビリティ・コミュニケーション施策推進法

- C. 教区行事「病者・障がい者とともに歩むミサ」の立案と実施  
実行委員会立上げと「交流会」を初企画し、筆談ボードを使ったワークショップ。また、その課題など

○コロナ感染拡大防止のため、教区行事でYouTube配信のノウハウが出来たが、①コロナ後も現地アクセス困難な病者・障がい者が視聴・参加できる環境は必要。YouTubeやオンラインの機会は増え、使わない人との格差も広がった。②同伴者としてサポートしたり、小教区などで視聴・参加できる環境を整えたりすることも課題。

※参照：デジタルデバイド(情報格差)の解消(総務省)

○教区の合併に伴い、障がい者関係グループや情報保障など協力関係を模索する。

### ワタシタチハニンゲンダ!

日本カトリック難民移住移動者委員会 担当 英 隆一朗 神父



小さい人びとはこの社会では人間としての存在が隠されていて、あたかも存在しないように扱われてしまう。大震災の直後、避難所には障がい者の居場所は無かった。実際、見捨てられていた。

コロナ危機の際、野宿者はワクチン接種も給付金ももらえなかった。肝心なとき、人間として存在していないかのように扱われる。そして、技能実習生や難民申請者などの滞日外国人の実態も隠されたままだ。彼らの叫び声が声にならなまま、今も響いている。「ワタシタチハニンゲンダ!」と。

その声を聞いて、真摯にかかわるとき、初めて人間が現れてくる。人間と人間がかかわる場が社会であり、教会だ。すべての人が人間として生きることができるよう。

### ご協力に感謝申し上げます

外国語司牧 責任者 デンニ・ワユディ 神父

このたび司牧者の皆様は外国人信徒司牧についてのアンケートにご協力いただき、感謝申し上げます。また、外国語司牧を担当する方には大阪高松大司教区からの翻訳やオンライン会議のお願いに応じいただき、ありがとうございます。これからも 様々な司牧の働きに豊かな実りがありますように、願っています。今回は徳島地区におられる外国司牧担当司祭を紹介させていただきます。



右：デンニ神父  
左：スティーブ神父

「私はスティーブと申します。インドから来ました。オプレート会(OMI)という修道会の神父で旧高松教区の徳島地区の外国人の司牧を担当しています。月に2回、第1と第4日曜日に英語ミサ、そして2ヶ月1回はベトナム語ミサがあります。英語グループやベトナムグループとミサ後その月の誕生会を祝います。5月には、マリア祭を国際交流的に地区でお祝いします。これから新大阪高松教区としての新しい歩みを楽しみにしています。」



↓ キ リ ト リ 線 (下記の破線で切り取ってご使用ください) ↓

この受領証は、郵便局で機械処理をした場合は郵便振替の払込みの証拠となるものですから大切に保存してください。

#### ご注意

この払込書は、機械で処理しますので、口座番号及び金額を記入する際は、枠内に丁寧に記入してください。

また、本票を汚したり、折り曲げたりしないでください。

(郵政事業庁)

この払込取扱票の裏面には、何も記載しないでください。

シナピスでは、毎月「シナピスニュース」を発行しています。

シナピスの活動は、皆様のご寄付で支えられています。活動の内容はぜひ「シナピスニュース」をご覧ください。

「シナピスニュース」ご希望の方はこちらまで。

TEL: 06-6942-1784

FAX: 06-6920-2203

E-mail: sinapis@osaka.catholic.jp

\*ホームページ

<https://sinapis.osaka.catholic.jp>

「シナピスニュース」は無料です。



# 「カテキズムの学び」

## 第46回 エウカリスチアの秘跡(3の2)

\*クラスは右のQRコードから



エウカリスチアの秘跡をどのように理解すべきかを、カテキズムはこう述べています。

わたしたちは、エウカリスチアを以下のように理解しなければなりません。——御父への感謝と賛美——キリストおよびそのからだである教会の、いけにえによる記念——キリストのことばとその霊の力によるキリストの現存(1358番)

この説明の中で「感謝と賛美」や「キリストの現存」は理解しやすいですが、「いけにえによる記念」は少し分かりにくい言葉です。「いけにえ」は辞書によると「神や霊への供え物として、生きている人や獣を捧げること」(大辞林)です。なんとも生々しい言葉ですが、ミサの中でこの言葉は感謝の典礼の冒頭で繰り返して使われています。

(パンとぶどう酒を供える際の司祭の祈り)きょう、み前に供えるいけにえも、み心にかなうものとなりますように。(司祭)皆さん、ともにささげるこのいけにえを、全能の父である神が受け入れてくださるよう祈りましょう。(会衆)神の栄光と賛美のため、またわたしたちと全教会のために、あなたの手を通しておささげするいけにえを、神が受け入れてくださいますように。

祭壇上でキリスト自身を御父に捧げるのですから、ささげものは同一です。かつてご自分を十字架の上でささげたキリストが、今司祭の役務を通してささげられているからです。ただ一つ違うのは、ささげ方だけです。(1367番)ということです。さらに、捧げるのはキリスト自身だけではなく、私たちも含まれます。

キリストとともに、教会全体がささげられます。…信者たちの生活、賛美、苦しみ、祈り、労働などはキリストのそれとキリストのまったき奉獻とに合わせられ、新たな価値を得るのです。(1368番)

キリストのいけにえと共に捧げるに値する日常を送り、日曜日に教会に行き、それを捧げるという思いをもってミサにあずかりたいものです。(文 酒井俊弘補佐司教)

## ガラシア健康だより

### 介護予防 ～介護をする人受ける人へ～

大阪府箕面市に本拠を置く医療法人ガラシア会が、全6回の介護予防をテーマにした健康情報をお届けさせていただきます。皆様の健康への一助になれば幸いです。

#### 第4回 認知症の予防

認知症とは、様々な脳の病気により記憶障害、判断力の低下などが生じ、日常生活に支障をきたした状態をいいます。現在、認知症の発症を完全に防ぐ方法は確立されておらず、予防の目的は認知症になるのを遅らせる、進行を緩やかにすることです。では、日ごろからどのようなことを心がければ認知症の予防ができるのか、今回はそれをテーマにお伝えします。

3 ステップの認知症予防

一次予防	認知症の発症遅延や発症リスクを低減。
二次予防	認知症の早期発見、早期対応。 かかりつけ医、薬剤師、保健師などによる健康相談や、本人、介護者による気づきから早期に適切な診断と治療を受ける。
三次予防	認知症の進行予防と進行遅延。 適切な治療やリハビリテーションの継続、現存機能の活用により生活機能を1日でも長く維持する。

認知症は高血圧、糖尿病、脂質異常症など生活習慣病が発症のリスクにつながる事がわかっています。また、このほかにも喫煙、抑うつ、運動不足、肥満、社会的孤立など様々なリスク要因がありますが、ほとんどは生活習慣の改善が予防につながると言われています。

#### 食習慣

バランスの良い食事をとりましょう。  
食べすぎや塩分、糖分を摂りすぎないように注意しましょう。

#### 運動習慣

有酸素運動(ウォーキング、ジョギング、サイクリング、水泳など)と無酸素運動(筋肉トレーニング)を合わせて行いましょう。  
毎日運動習慣を身につけることも良いでしょう。

#### 知的活動

手先と頭を同時に使うパズルゲーム、楽器演奏、料理などが良いでしょう。無理なく楽しく続けられるものを見つけましょう。

#### コミュニケーション

電話やインターネットを使った会話、地域交流会などへの参加で脳を活性化させましょう。

認知症予防のためにも生活習慣の改善を無理なくできることから始めてはいかがでしょうか。



**認知症を疑った際は、早めの受診をお勧めします**  
認知症の初期症状はうつ病や甲状腺機能低下など、ほかの病気と症状が似ているところもあります。  
最近なにかおかしいな、と思った方は早めの受診をお勧めします。  
当院の神経内科では、もの忘れの診療を行っています。  
(診察時はご家族様などの介助者の方とご来院ください)

ガラシア病院(要予約)  
お問い合わせ: 072-729-2345 (代表)

難民に関わると「当事者」とどうやって意思疎通をはかるのか「うやうやしく聞かれます。実は貴重な「仲介役」が存在するのです。アフガニスタン人やシリア人など、ある程度の数の難民に関する場合には必ず同国出身者の「仲介役」が存在し、彼らが通訳をしながら私たちとともに動いてくれるので支援活動が成り立つのです。

この仲介役にはある特徴が見られます。ずっと以前に来日し、苦勞をなめて自活の道を切り開き、永住資格や日本国籍など安定したステイタスをもっています。また、コミュニケーション能力に優れ、日本の社会システム



「シリア人、トラブルムをよく知っています。彼らは同胞たちには「日本人にありがちな思考や行動パターン」を教え、また日本人には相談者の背景事情や性格などを伝えて、支援活動がより円滑に進むよう手助けをします。

「シリア人、トラブルムをよく知っています。彼らは同胞たちには「日本人にありがちな思考や行動パターン」を教え、また日本人には相談者の背景事情や性格などを伝えて、支援活動がより円滑に進むよう手助けをします。

## 「仲介役」—難民移住者

### 報われない立役者たち

「シリア人、トラブルムをよく知っています。彼らは同胞たちには「日本人にありがちな思考や行動パターン」を教え、また日本人には相談者の背景事情や性格などを伝えて、支援活動がより円滑に進むよう手助けをします。

## 訃報

ポール・スクルス神父(淳心会)は、2023年11月19日、急性腎不全のため姫路聖マリア病院で帰天。96歳。ベルギー出身。



Sr 松浦ミツノ(聖母奉獻修道会)は、2023年10月18日、姫路聖マリア病院で老衰のため帰天。島根県松江市出身。99歳。奉獻生活58年。



Sr マリア・ルチア橋本ハセ(大阪聖ヨゼフ宣教修道女会)は、2023年11月2日、介護老人保健施設ニューライフガラシアで老衰のため帰天。長崎県出身。津教会出身。87歳。奉獻生活61年。



2012年より淳心会仁豊野レジデンスにて静養。  
召命のきっかけとなった、マタイ28章18節〜20節「あなたがたは、野原や花を育てて修道院内外

1965年終生誓願。  
姫路聖マリア学院において養護教諭として長年勤め、生徒たちの心身の健康のために尽力し、多くの生徒に慕われていた。華道小原流二級を取得、学校行事に際して講堂に大きな花を飾った。野菜や花を育てて修道院内外

1962年初誓願後、惜しみなく共同体や姉妹のために奉仕すること

晩年は、幼少期に影響を受けたド・ロ神父(パリ外国人宣教会)のように、海外宣教にも携わり、地域に根ざしたブラジル教会で多くの

たは行って、すべての民をわたしの弟子にしなさい」という言葉が、神様から自身への呼びかけになり、終生宣教に身をささげた。

晩年は仁豊野修道院において静かに祈りと奉仕の生活を過ごし、その姿は後輩により模範を残した。

とを喜びにしていた。創立者に委ねられた使命を継承することになり、特に大阪高松大司教区の司祭のために祈りと犠牲をささげた。

(文 シナピス事務局 ビスカルド篤子)

# 来見なさい



ヨハネ 1・46

※詳細は各主催者へ直接お問い合わせください。

## 教区委員会主催

信仰養成連続講座◆カテキズムの第2編「キリスト教の神秘を祝う」

日時 12月はお休み  
講師 酒井俊弘補佐司教  
場所 サクラ ファミリア /YouTube配信あり  
主催 使徒職養成委員会  
問 ☎06-6941-9700

2023年度 第5回諸宗教活動◆第4回 諸宗教シンポジウム

テーマ「幸せへの道を示す宗教」キリスト教、神道、仏教の三つの宗教の視点から考察し、対話します。  
講師 大西崇生神父(イエズス会) 安部初男禰宜(生田神社) 太端知見住職(曹洞禅玉峰寺)  
日時 12/9(土)17:15~20:00  
場所 カトリック大阪高松大司教区 本部事務局  
主催 諸宗教対話委員会  
問 ☎06-6941-9700  
✉ird-ecm@osaka.catholic.jp

## サクラ ファミリア主催

聞かせてください 神さまと出会った時のこと~エマオへの道で~◆大阪教区で働く司祭・修道者ご自身の体験をさく  
日時 12/5(火)18:00~19:30 (夜の部)・12/6(水)10:30~12:00(昼の部)

お話 高橋 聡神父(明石教会)

コレーン神父と学ぶ聖書◆「使徒パウロのフィリピの教会への手紙」

日時 第2(月)13:30~15:00 (9~12月開講)  
参加費 ¥500

和田幹男神父◆聖書研究講座『主のしもべイエス』

日時 12/13(水)10:30~12:00

和田幹男神父◆新約聖書ギリシア語(初級)

日時 12/11・12/18(月)17:00~18:30

松浦信行神父◆「新生の明日を求めて」読書会

日時 毎週(月)(第2は休み)14:00~15:30

松浦信行神父◆聖書通読会

日時 毎週(木)10:00~11:30

松浦信行神父◆「YOUCAT(青年向けカテキズム)」勉強会

日時 毎週(金)19:00~20:00

祈りのよる◆灯りをかこみ、ともに祈る静かな時間を

日時 毎月17日 19:00~19:30  
問 サクラ ファミリア ☎06-6225-8871  
✉f.sacra@osaka.catholic.jp

## 結婚準備講座

夙川教会  
日時 2024年2/3(土)~2/24(土)4回 16:30~18:00  
参加費 ¥5,000(2名)  
問 ☎0798-22-1649

六甲教会  
日時 2024年2/4(日)~2/25(日)4回 14:00~16:00  
参加費 ¥5,000(2名)  
問 ☎078-851-2846  
✉renraku@rokko-catholic.jp  
※事前要問合せ(年2回)

## 黙想会

宝塚黙想の家  
◆日帰り黙想会  
日時 12/21(木)・12/22(金)  
指導 染野治雄神父(12/21) 山内十束神父(12/22)  
参加費 ¥3,500

◆一泊黙想会  
日時 12/15(金)17:00~12/16(土)15:30  
指導 染野治雄神父  
参加費 ¥9,000

◆聖地エルサレムを学ぶ  
日時 第2(木)10:00~12:00  
指導 笹田六合豊修道士  
参加費 ¥1,000

◆カトリック教会のカテキズム  
日時 第1・3(水)10:00~12:00  
指導 染野治雄神父  
参加費 ¥1,000

◆祈りを深めるための聖書の基本  
日時 第1・3(水)10:00~12:00  
指導 山内十束神父  
参加費 ¥1,000

問 宝塚黙想の家 ☎0797-84-3111

## 講座・研修会

講座 本田哲郎神父◆小さくされた人々のための福音  
日時 第3(金)10:00  
場所 神戸学生青年センター  
参加費 ¥1,000  
主催 神戸国際支縁機構  
問 岩村 ☎070-5045-7127

## 集い

セレスチナ合唱団  
◆Adeste Fidelesミサ聖祭でミサ曲を歌う  
日時 12/10(日)14:00  
場所 大阪明星学園 聖堂  
参加費 無料  
主催 セレスチナ合唱団 (協力 大阪明星学園)  
問 内野 ☎090-1155-7535

大阪JOC◆働き方や生き方について現状から共に考える15~35歳までの若者の集い  
日時 第4(土)14:00~16:00  
場所 大阪YCWセンター (またはZoom)  
問 レネ神父・水元 ☎072-232-8063  
✉osakaycw@gmail.com  
HPhttp://www.ycw.jp/

要約筆記グループ“エッファタ!”練習会◆教区ミサに要約筆記(文字表示)をつけるボランティア  
対象 要約筆記に関心のある方。フリーソフトcaptiOnlineを使いパソコンまたはスマホで練習します。  
日時 毎月第2(水)10:00~12:00  
場所 教区本部事務局 1階会議室  
主催 要約筆記グループ “エッファタ!”

精神・発達症(障害)者自助グループ◆オリーブの集い  
守秘義務と分かち合い いつ来てもウェルカム 当日キャンセルOK  
日時 毎月第3(日)14:00~16:00  
場所 姫里集会所  
参加費 無料(12月のクリスマス会だけ実費)  
申込 吉川まで  
問 ☎078-583-2525  
✉yassan.yoshikawa@nifty.com

力障害大阪フレンドリー◆点字部の勉強会  
対象 パソコン点字に関心のあるかた、視覚障がい者の情報共有に関心のある方  
日時 毎月第2(火)13:30~15:00  
場所 姫里集会所(奇数月) 北須磨教会(偶数月)  
申込 笠松まで  
問 ☎090-5661-4324  
☎072-722-0271  
✉kasamatsu-yukisan@iris.eonet.ne.jp

手話に興味をお持ちの方へ◆聞こえない人も聞こえる人もボランティア会の見学にいらしてください  
内容 聖書の学び・教区活動の手話通訳者派遣 ※手話講習会ではありません  
日時 第1・3・5(水)10:00~14:00  
場所 姫里集会所  
主催 大阪教区聴覚障がい者ボランティア会  
問 障がい者委員会 dis@osaka.catholic.jp

マザー・テレサ共労者の集い◆大阪梅田教会  
日時 第1(土)14:00  
問 高塚 ☎06-6921-0693  
◆加古川教会  
日時 第3(火)13:00~14:30  
問 佐藤 ☎079-435-1157

## 情報の掲載には申し込みが必要です

- 掲載無料
- 申し込みは、掲載希望月2カ月前の末日まで(厳守)
- 下記連絡先までご連絡ください。記入用紙をお送りします
- 掲載の継続をご希望の場合はお知らせください
- 締切日を過ぎての申し込みや教区報にふさわしくないと判断されたものは掲載できません
- スペースの関係上、掲載できない場合はご連絡します
- 編集(加筆・修正)させていただくこともございます

【連絡先】 〒540-0004 大阪市中央区玉造2-24-22 カトリック大阪高松大司教区広報委員会 ☎06-6946-3223(直) ☎06-6946-3224(直) ✉jiho@osaka.catholic.jp

## 大阪教区のカトリック病院 ガラシア病院

特徴的な医療  
ホスピス(緩和ケア) リハビリ・神経内科 肝臓内科・循環器内科

医療法人ガラシア会  
理事長 前田万葉大司教  
チャプレン 松本信愛 神父

〒562-8567 箕面市粟生間谷西6-14-1 ☎072-729-2345



ひとりでも悩まないで ~私たちに聴かせてください~

カトリック大阪大司教区

ハラスメント相談窓口

※委員会はハラスメント全般を視野に入れることになりました。そのため、名称変更します。

電話番号:06-6941-9718

相談窓口受付時間  
月・火・金曜日(祝日を除く)  
午前10時~午後4時

あなたの悩みを親身になって受け止めます。秘密は必ず守られます。

## 12月司教予定

(下記「行事等日程」以外)

- ・12/15 江戸の大殉教400年記念(+M・+S)
  - ・12/16 東京教区補佐司教叙階式(+M・+S)
  - ・12/18~22 マニラ巡礼(+M)
  - ・12/24 聖夜ミサ:玉造教会(+S)
  - ・12/25 日中ミサ:高松番町教会(+M)/夙川教会(+S)
- +M=前田万葉大司教 +S=酒井俊弘補佐司教

## 行事等日程

12月					
3	日	宣教地召命促進の日(献金)	30	土	(教区本部事務局 年末年始休業 2023.12/30~2024.1/4)
6	水	10時 責任役員会			
7	木	[常任司教委員会]	31	日	聖家族
8	金	無原罪の聖マリア	2024年1月		
14	木	[臨時司教総会]	1	月	神の母聖マリア 世界平和の日
25	月	主の降誕			
26	火	11時 みことばの祭儀(教区月修)	5	金	(教区本部事務局 2024年始業)

## 編集後記

言葉に魂が宿ると言われています。それが言葉(ことば)です。言葉を口にすると、しばしばそれが現実になります。言葉に内在する力を言葉と呼びます。▼言葉が悪い意味で現実働きかけ、現実を悪い方向に変えてしまう、その背景の一つが、「傲慢」と「高慢」ではないでしょうか。「傲慢」や「高慢」の特徴は、人を傷つける言葉にあります。▼自分が絶対に正しいと思いついでいる人は、他の人の意見を受け入れる余裕がなく、気分や感情に配慮することができません。そのために心を閉ざして拒否や拒絶の言葉を投げかけてしまうのです。▼「傲慢」「高慢」が、神の言葉である幼子イエスを拒絶しないように、自分の生き方を見つめ直してみませんか? (広報委員会 川柳裕明)